

ヒアリング項目：介護支援基盤の整備

担当府省：厚生労働省

○「女性活躍加速のための重点方針 2015」の該当箇所
該当なし

○「女性活躍加速のための重点方針 2016」の該当箇所

Ⅲ 女性活躍のための基盤整備

1. 子育て基盤等の整備

(2) 家事・子育て・介護支援の充実

- ⑥ 「介護離職ゼロ」の実現を目指し、2020年代初頭までに介護の受け皿の整備量を50万人分以上に拡大する。また、介護人材25万人の確保に向け、一定要件を満たせば返済不要となる介護福祉士を目指す学生への修学資金等の貸付や潜在介護人材への再就職準備金の貸付を充実させるとともに、介護人材の待遇改善や介護サービスの生産性向上等により、総合的な人材確保対策に取り組む。

ヒアリング項目：介護支援基盤の整備

担当府省：厚生労働省

○第4次男女共同参画基本計画の関連する分野：

第9分野 男女共同参画の視点に立った各種制度等の整備

1 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し

イ 男女の多様な選択を可能とする育児・介護の支援基盤の整備

○「女性活躍加速のための重点方針2015」及び「女性活躍加速のための重点方針2016」での該当施策：

	施策名	予算額（千円）	
2015	—	（28年度当初予算）	—
2016	地域医療介護総合確保基金	（29年度当初予算）	42,290,000

○第4次男女共同参画基本計画における関連する成果目標：

該当なし

【女性活躍加速のための重点方針2016】

通し 番号 (注1)	項目 (注2)	担 当 府 省	該当施策名	施策の背景・目的 (注3)	当該施策の概要 (注3)	政策手段				
						関係予算 (千円)				法令・制度改正 機構定員 その他
						28年度 当初予算	28年度 二次補正 予算	29年度 予算	対28年度 増減額	
129	Ⅲ 1 (2) ⑥	厚生労働省	地域医療介護 総合確保基金	団塊の世代が75歳以上となる2025年を展望すれば、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護推進、医療・介護従事者の確保・勤務環境の改善等、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」が急務の課題である。このため、消費税増収分等を活用した財政支援制度（本基金）を平成27年度に創設し、各都道府県に設置することとしたところであり、各都道府県は、都道府県計画を作成し、当該計画に基づき事業を実施する。	地域包括ケアシステムの構築に向けて、各都道府県計画に基づき、地域密着型サービス等、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進するための支援を行う。 ○地域密着型サービス施設等整備助成事業 ○介護施設等の施設開設準備経費等支援事業 等	42,290,000	－	42,290,000	0	－

（注1）『女性活躍加速のための重点方針2016』に基づく平成29年度予算案等について」（平成29年2月）での整理上の番号を示す。

（注2）「女性活躍加速のための重点方針2016」（平成28年5月20日 全ての女性が輝く社会づくり本部決定）の記載箇所を示す。

（注3）『女性活躍加速のための重点方針2016』に基づく平成29年度予算案等について」（平成29年2月）における記載内容である。